

siroca

取扱説明書 **保証書つき**

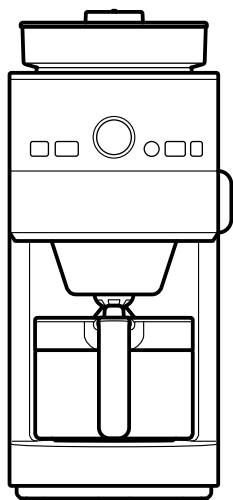
コーン式全自動 コーヒーメーカー

SC-C125

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。



会員登録・機器登録でもっと楽しく便利に

シロカクラブ

新規会員募集中 登録料・年会費無料

うれしい会員特典

- 部品・消耗品が最大20%OFF*
シロカオンラインストア本店で使える
- ポイント 500円分プレゼント
- 製品のお役立ち情報、新製品情報などお届け

*割引率は部品・消耗品によって異なります。一部対象外の製品もございます。



登録はこちら
所要時間:約2分

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

コーヒーの基礎知識	2
安全上のご注意	4
各部のなまえ	8
部品を取り付ける・取り外す	10
お使いになる前の準備	14
使いかた	16
タイマー（予約）の使いかた	21
お手入れ	23
故障かなと思ったら	26
仕様	29
部品・消耗品	30
保証書	32

| コーヒーの基礎知識

理想の一杯を見つけるために、コーヒーの基礎知識を少しだけご紹介します。

POINT1 コーヒー豆の購入と保存

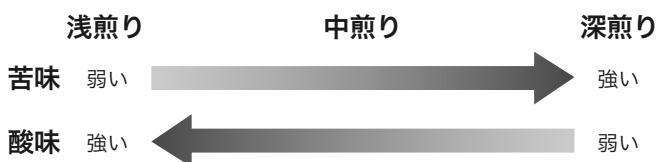
新鮮なコーヒー豆を、なるべく1週間で飲みきる量だけ購入しましょう。開封後は、密閉して冷暗所で保管しましょう。

本製品では…

本体上部のホッパーに、約100gまでのコーヒー豆を保管できます。

POINT2 焙煎度について

コーヒーの風味は、焙煎の違いで大きく変化します。一般的に、浅煎りは酸味が強く、苦みは少なめ。深煎りになるにつれて、酸味が少なく苦みが強調されていきます。



POINT3 豆をひく

コーヒー豆はひいて粉になると、30分程度で味が劣化してしまいます。おいしいコーヒーを飲むためには、いれる直前にひくことが大切です。

また、コーヒー豆をひく際は、ひいた粒の大きさが均一になることも重要です。粒の大きさが揃っていないと、抽出にムラが出てしまいます。手回しタイプのコーヒーミルを使う場合は、なるべく同じ速度で回しましょう。

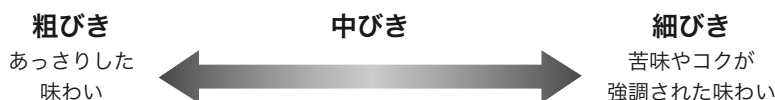
本製品では…

豆を均一にひけるコーン式ミルによって、コーヒーをいれる直前に豆をひきます。

そのため、ひきたての香りと新鮮でおいしいコーヒーが楽しめます。

POINT4 粒度による味の変化

ひいたコーヒー豆の粒の大きさがちがいで、味わいは変化します。細びきになるほど、粒の表面積が広くなり、お湯と接触する面積が多くなるので、コーヒーの成分が多く抽出される傾向にあります。



本製品では…

本体上部のひき目調節ダイヤルで、細びき～粗びきまで、無段階に調節できます。

お好みで粒度を調節して、味わいの変化をお楽しみください。

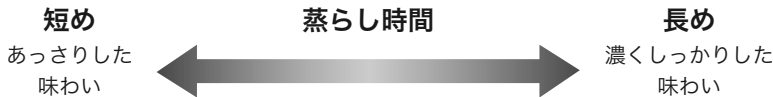
POINT5 フィルターの種類

ドリップコーヒーをいれるための、代表的な3種類のフィルターをご紹介します。

- ペーパーフィルター：ペーパーが油脂分やアクを吸着するため、クリアな味わいになります。コーヒーを入れた後はフィルターごと捨てるだけなので、後片付けも簡単です。
- ステンレスフィルター：メッシュが金属のため、コーヒーオイルまで抽出できることが特徴です。豆の個性をダイレクトに味わいたいときは、ぜひステンレスフィルターで入れてみましょう。洗剤で洗えるため衛生的で、繰り返し使えることもメリットです。
- 布フィルター：布フィルターを通すことで生まれる、まるやかさや口あたりの良さが特徴です。水洗いをして繰り返し使えますが、お手入れや保存に手間がかかります。

POINT6 蒸らし時間

コーヒーのおいしい成分を十分に引き出すためには、蒸らし時間をしっかりとることが大切です。抽出前に少量のお湯でコーヒーを湿らして、じっくり蒸らします。するとコーヒーに含まれるガスが放出され、コーヒーが膨らみます。この工程でコーヒーとお湯がなじみ、コーヒーの成分が出やすくなります。同じ豆でも、蒸らし時間で味わいが変わります。蒸らし時間を短くすると比較的あっさりした味わいに、長くすると濃くしっかりした味わいになります。



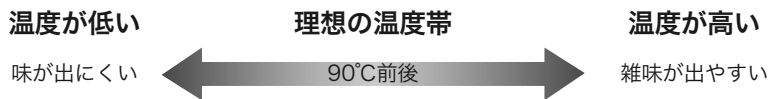
本製品では…

《テイスト》ボタンで、《マイルド》か《リッチ》を選択することで、二つの味わいを楽しめます。

POINT7 適切な温度でいれること

諸説ありますが、コーヒーをいれるのに理想の温度は90°C前後です。温度が低いと味が出にくく、高すぎると旨み以外の雑味も出てしまいます。

ハンドドリップの場合は、沸騰したお湯をケトルに移し替えた温度が、ちょうど良いとされています。



POINT8 できあがったコーヒーは、なるべく早く楽しんで

コーヒーの飲み頃の温度は68～70°Cといわれています。60°Cより冷めてしまうと美味しさを感じにくくなるので、コーヒーを入れたら温かいうちに飲みましょう。あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。

コーヒーの好みは千差万別。味を変化させるコツをつかんで、自分の理想の一杯を見つけてくださいね。

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体や操作部に水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



接触禁止

蒸気口に触ったり、手や顔を近づけない
やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

サーバー、バスケットなしで使用しない

やけどの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない

火災・感電・やけどの原因になります。



禁止

落としたり、衝撃を加えたりしない

感電・故障の原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



子どもが本製品で遊ぶことがないように注意する

感電・けが・やけどの原因になります。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。

注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



禁止

壁や家具の近くでは使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気の近くやIHクッキングヒーターの上では使わない

変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

使用上の注意事項



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない

高温のため、やけどの原因になります。



禁止

専用のサーバー以外は使用しない

発火・故障・やけどの原因になります。



禁止

抽出中にサーバーをはずさない

やけどの原因になります。



禁止

サーバーをセットしたまま本体を動かさない

サーバーが外れて、やけど・けがの原因になります。



禁止

空だきをしない

給水タンクに水が入っていない状態で通電すると、故障・火災の原因となります。



禁止

サーバーをセットせずに使用しない

故障・やけどの原因となります。



お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。



長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く

長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない

牛乳・紅茶・酒など水以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。



禁止

サーバーを落としたり、かたいものにぶつけたりしない

樹脂部分が破損したり、サーバー表面が変形し、保温性能が低下することがあります。



使用したあとは、保温を中止して、30分間休ませてから使用する

本体が熱いうちに給水タンクに水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が噴出して、やけどの原因になります。



禁止

サーバーを直火にかけたり、電子レンジで使用したりしない

取っ手が変形したり、金属部から火花が飛び散るなどの原因になります。



禁止

サーバーを倒したり、レバーを押したまま持ち運びしたりしない

内容物が漏れて、やけどの恐れがあります。



禁止

サーバーを水に浸さない

すぎ間に水がたまり、さびや変形の原因になります。

⚠ 注意



ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにする

本体内部にミネラル成分が付着しやすくなったり、付着したミネラル成分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。



給水タンクに満水目盛り以上の水を入れない

湯がこぼれたり、本体の底から湯が出てやけどの恐れがあります。



電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない

電源コードが引っ掛かり、製品が落下して、けがや故障の原因になります。



直射日光が長時間あたる場所で使わない

故障の原因になります。



ミルにコーヒー豆以外のものは入れない

故障の原因になります。



水なしで空運転、ミルの連続運転をしない

故障の原因になります。



本体にふきんなどをかぶせない

変形や故障の原因になります。



ミルのお手入れは、必ず付属のお手入れブラシを使用する

けがの原因になります。



他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しない

蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。



使用中にホッパーふたやバスケットを開けない

やけどやけがの原因になります。



抽出直後にステンレスフィルターまたはペーパーフィルターを直接触らない

やけどの原因になります。



使用中に給水タンクを外さない



屋外で使用しない

故障の原因になります。



テーブルなどからはみ出した状態で使用しない

けが・やけどの恐れがあります。



使用中や使用後しばらくはバスケットの下に手を入れない

しずくが垂れて、やけどの恐れがあります。

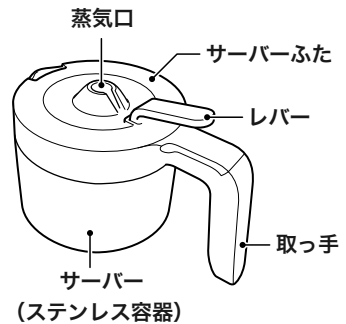
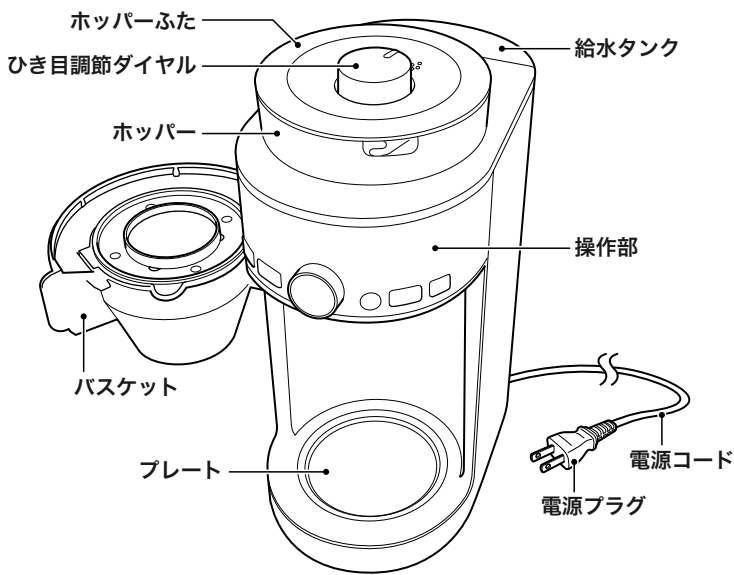


カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない

コーヒーが飛び散る恐れがあります。

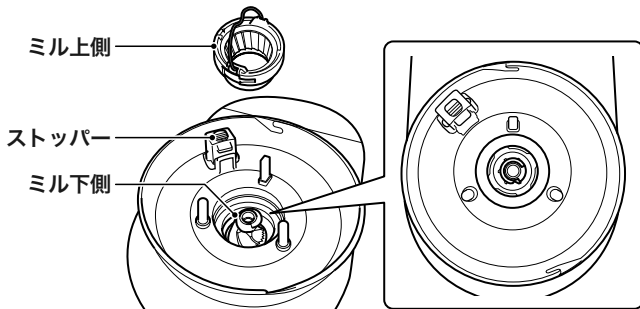
各部のなまえ

本体



サーバーをコーヒー抽出以外の目的で使用しないでください。
転倒すると湯がもれ、やけどの恐れがあります。

▶ ホッパー内部

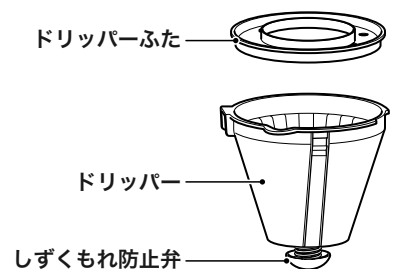


ミル上側・ミル下側について

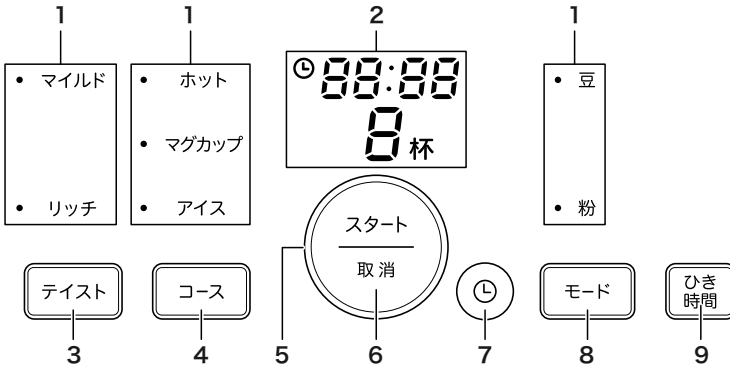
本製品は、すべて工場出荷時にコーヒー豆を使った検査をして性能を確認し、全品清掃をして出荷しています。コーヒー粉がミル上側・ミル下側に付着していたり、コーヒーのにおいが残っていたりすることがございますが、人体への影響はありませんので安心してお使いください。

▶ バスケット内部

ドリッパーには、しずくもれ防止弁がついているため、コーヒーがバスケットからもれ出ないしくみになっています。



操作部



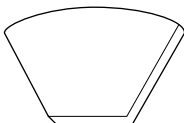
操作部の点灯と消灯について

運転中以外は、何も操作をしないと約60秒で表示が消えて待機状態(時計表示)になります。もう一度ボタンを押すと点灯し操作ができるようになります。

名称	説明
1 ランプ	選んでいる項目のランプが、赤く点灯します。対応するボタンを押すたびに、選択項目が切り替わります。
2 ディスプレイ	現在時刻、タイマー時刻、杯数、ひき時間が表示されます。
3 《テイスト》ボタン	蒸らし時間を《マイルド》、《リッチ》から選択できます。
4 《コース》ボタン	コースを《ホット》、《マグカップ》、《アイス》から選択できます。
5 ダイヤル	時刻や杯数を設定するときに回します。
6 《スタート/取消》ボタン	抽出を開始/中止するときに押します。
7 ⌚(タイマー)ボタン	タイマーを設定するときや、タイマー運転をするときに押します。待機状態のときに押すと時刻表示が消灯します。再度押すと点灯します。
8 《モード》ボタン	モードを選択します。豆/粉の2つから選択できます。
9 《ひき時間》ボタン	ひき時間を設定するときに押します。

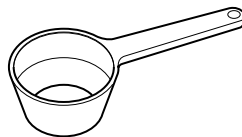
付属品

▶ ペーパーフィルター (5枚)



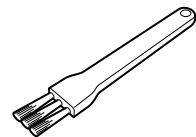
2～4杯用です。
市販品をご購入の際は、「2～4杯用」のペーパーフィルターをお選びください。
サイズ：(1×2)または(102)

▶ 計量スプーン

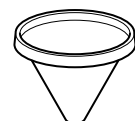


コーヒーの粉専用です(粉すりきり1杯が約6g、内側の線までが約3g)。

▶ お手入れブラシ



▶ ステンレスフィルター



| 部品を取り付ける・取り外す

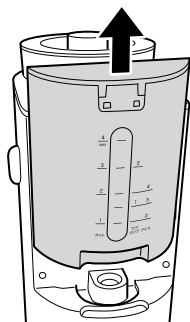
ご注意

お手入れや部品の取り付け・取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めた後に行ってください。

給水タンク

取り外しかた

- ① 給水タンクの底部をつかんで持ち上げる



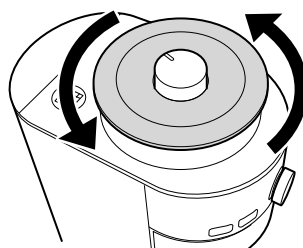
取り付けかた

- ① 本体に沿って、給水タンクを差し込む
給水タンクと本体との間にすき間がなくなるまで、しっかりと押し込んでください。

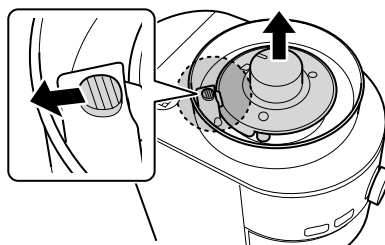
ホッパーふた・ひき目調節ダイヤル

取り外しかた

- ① ホッパーふたを、反時計回りに回して持ち上げる



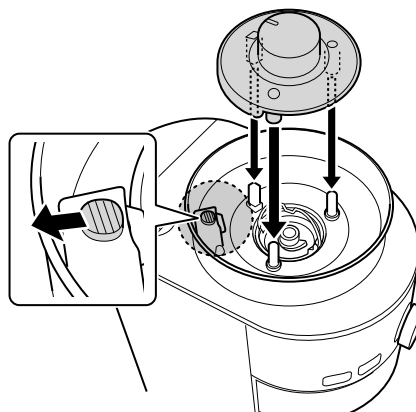
- ② ストッパーを押し込みながら、ひき目調節ダイヤルを持ち上げる



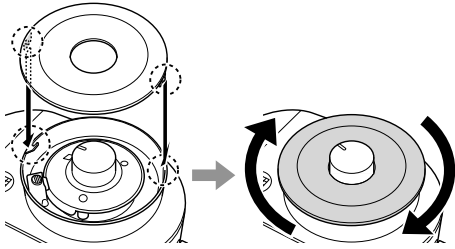
取り付けかた

- ① ストッパーを押し込みながら、ひき目調節ダイヤル裏側の穴(3か所)を、ホッパー内の突起(3か所)に合わせて差し込む

差し込んだ後、ひき目調節ダイヤルを軽く動かして、空回りしたり外れたりしないこと、またストッパーに確実に入っていることを確認してください。



- ② ホッパーふた側面の突起を、ホッパーの溝に合わせてはめ込み、時計回りに止まるまで回す

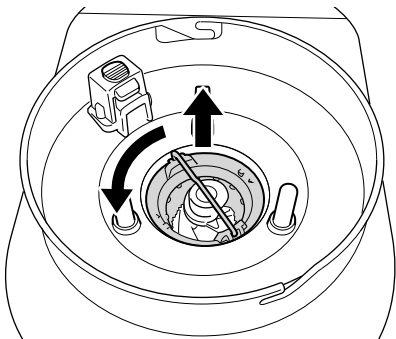
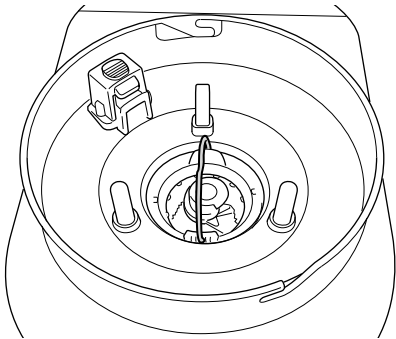


ミル上側

取り外しかた

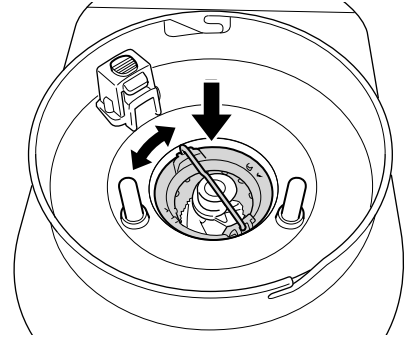
あらかじめ、ホッパーふたとひき目調節ダイヤルを取り外してください。

- ① ミル上側の取っ手を反時計回りに止まるまで回してから持ち上げる



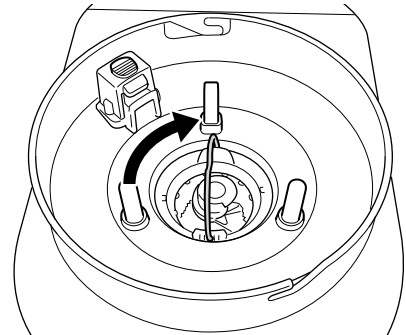
取り付けかた

- ① ミル上側をミル内部に差し込んでから軽く回して、奥まではまる位置に合わせる



- ② 取っ手を時計回りにカチッと音がし、止まるまで回す

取っ手を軽く引っ張って、ミル上側が抜けないことを確認してください。



部品を取り付ける・取り外す

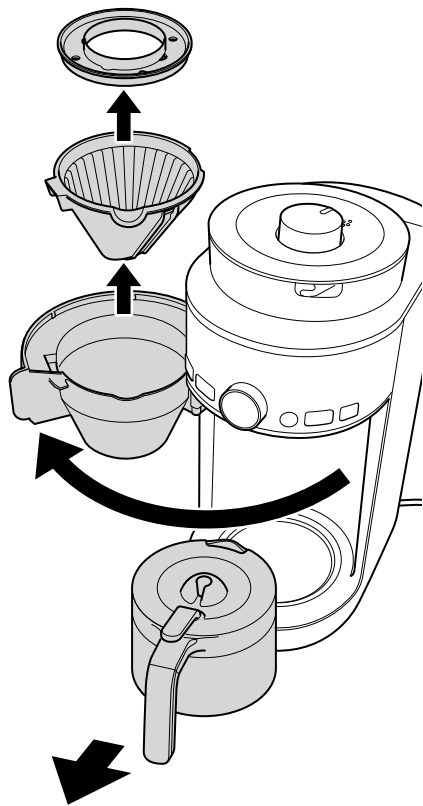
ドリッパーふた・ドリッパー

ご注意

- バスケットを開けるときは、先にサーバーをプレートから取り外してください。
バスケットにサーバーが引っかかり、プレートからサーバーが落下して、けがや故障の原因になります。
- 抽出中は絶対にバスケットを開けないでください。
やけど・けがの原因になります。

取り外しかた

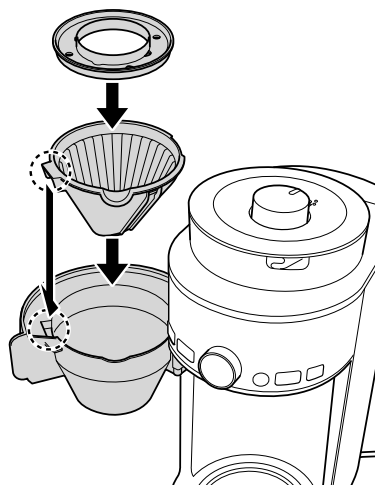
- ① サーバーを取り外し、バスケットを開けて、ドリッパーふたとドリッパーを持ち上げる



取り付けかた

- ① ドリッパーの凸部と、バスケットの凹部を合わせる

続けて、ドリッパーふたを取り付けます。

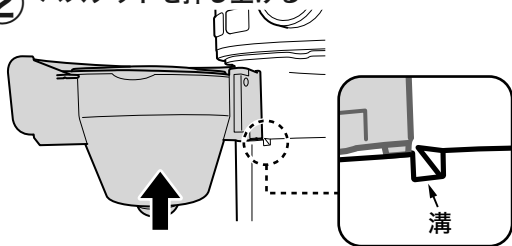


バスケット

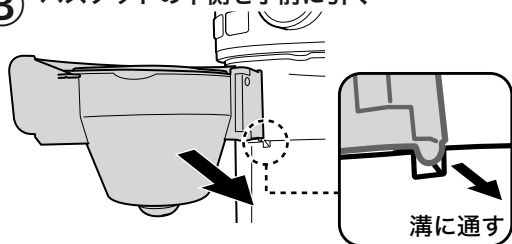
取り外しかた

① バスケットを全開にする

② バスケットを押し上げる

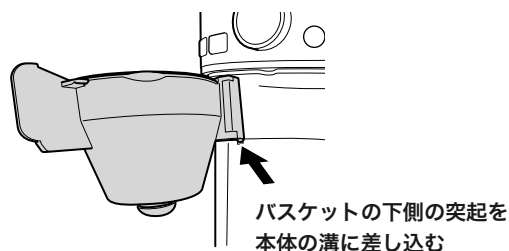
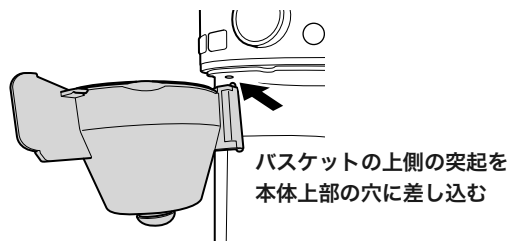


③ バスケットの下側を手前に引く



取り付けかた

① バスケットの上側の突起を本体上部の穴に差し込み、バスケットの下側の突起を本体の溝に差し込んでから、バスケットを強く押し込む



サーバーふた

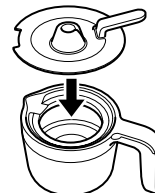
取り外しかた

① サーバーふたを、反時計回りに回して持ち上げる

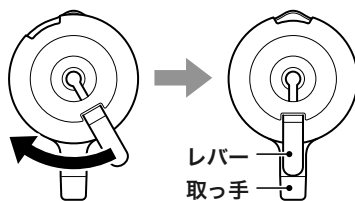


取り付けかた

① サーバーふたをサーバーにはめ込む



② 取っ手とレバーの位置が合うまで時計回りに回して確実に閉める



| お使いになる前の準備

時計を設定する

タイマーを使うには、時計の設定が必要です。電源プラグをコンセントに差し込んだら、はじめに時計を設定してください。

① 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

電源プラグをコンセントに差し込むと、すべての表示が点灯してから2秒後に自動で時計の設定モードになり、[00]が点滅します。



— 時計を設定しない場合は —

[スタート/取消]ボタンを押して、時計の設定モードを終了します。

現在時刻を設定しないと、[00:00]から時計のカウントが始まりますので、はじめに時計を設定することをおすすめします。

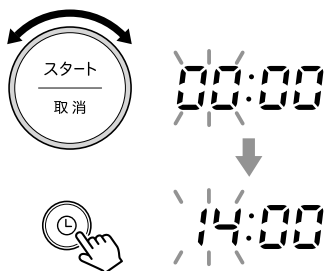
— 時刻表示を消灯するには —

待機状態(時計表示)のときにⓐ(タイマー)ボタンを押すと、時刻表示を消灯させることができます。消灯してもタイマー設定はリセットされません。

点灯させるには、再度ⓐ(タイマー)ボタンを押してください。

② 時計の「時」を設定する

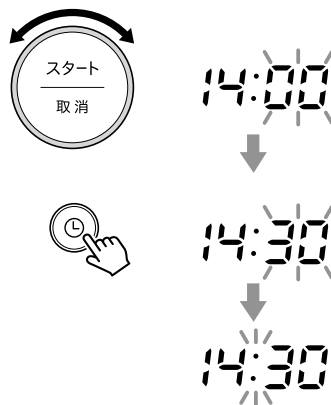
ダイヤルを回して「時」を合わせたら、ⓐ(タイマー)ボタンを押して確定します。



③ 時計の「分」を設定する

ダイヤルを回して「分」を合わせたら、ⓐ(タイマー)ボタンを押して確定します。

約3秒後、[:]のみが点滅すると、設定は完了です。



ご注意

電源プラグをコンセントから抜いたときや、停電によって電源が遮断されたときは、時計の設定がリセットされます。時計がリセットされたときは、時計を設定しなおしてください。

時計を再設定する

時計がずれている場合は、下記の方法で本体をリセットして時計を設定しなおしてください。

① ⓐ(タイマー)ボタンと《モード》ボタンを長押し(3秒)し、本体をリセットする

本体がリセットされると、ディスプレイが全点灯した後、時計の設定モードに切り替わります。



② 時計を設定する

→「時計を設定する」手順②以降 **14ページ**

本体の内部を洗浄する

本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体の内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。以下の手順で本体の内部を洗浄してからお使いください。

ご注意

本体の内部を洗浄するときは、コーヒー豆・コーヒー粉を入れないでください。

- ① 水洗いできる部品は、本体から取り外して洗う

➡「部品を取り付ける・取り外す」 10ページ

➡「お手入れ」 23ページ

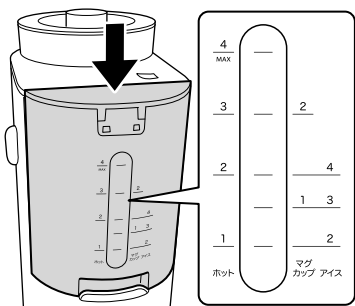
- ② 洗った部品の水気を十分に切ってから、本体に取り付ける

➡「部品を取り付ける・取り外す」 10ページ

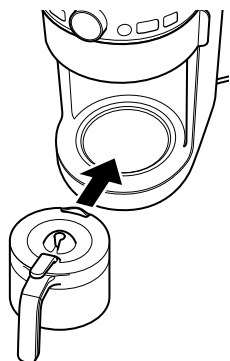
内部の洗浄には水のみを使います。コーヒー豆・コーヒー粉は入れないでください。

- ③ 給水タンクの満水を目盛りまで水を入れて、本体に取り付ける

➡「取り付けかた」 10ページ



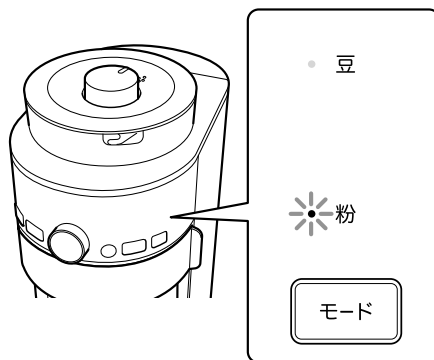
- ④ サーバーをプレートにセットする



- ⑤ いずれかのボタンを押して、コーヒーをいれる画面(杯数や時計が表示されている画面)にする

- ⑥ 《モード》ボタンを押して、[粉]を選ぶ

ボタンを押すたびに、選択項目が切り替わります。
[粉]ランプを点灯させてください。



- ⑦ 《スタート/取消》ボタンを押して、抽出を開始する

動作の始まりと終わりにブザー音が鳴ります。

- ⑧ 本体が冷めるまで約30分待ってから、サーバーのお湯を捨てて水ですすぐ

- ⑨ 手順③から手順⑧を、1回～2回繰り返す

プラスチック特有のにおいがする場合は

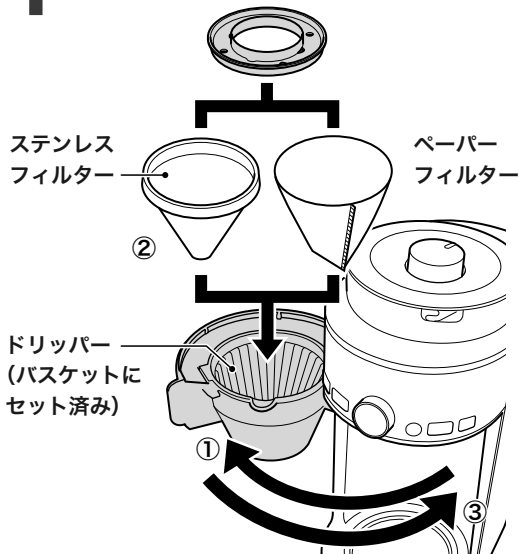
使いはじめのうち、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。

お使いになるうちに少なくなります。気になる場合は1～2回水だけで抽出してからお使いください。それでも気になる場合は、クエン酸洗浄を行ってください(25ページ)。

使いかた

準備する

1 フィルターを取り付ける

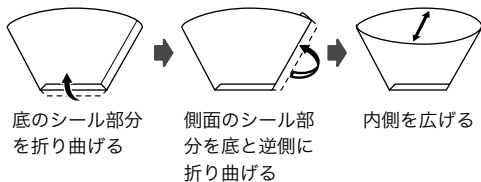


- ①バスケットを開ける
- ②フィルターをドリッパーに取り付け、ドリッパーふたで固定する
- ③バスケットを閉める

ご注意

フィルターを必ず取り付けてください。
取り付けないとコーヒーを抽出できません。

ペーパーフィルターの折りかた

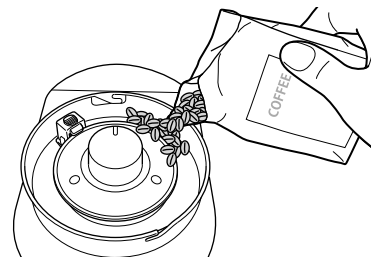


台形型フィルターの2～4杯用のサイズ「1×2」または「102」を使ってください。

2 コーヒー豆またはコーヒー粉を入れる

コーヒー豆の場合

- ① ホッパーふたを取り外す
➡「取り外しかた」 10ページ
- ② ホッパーにコーヒー豆を入れる

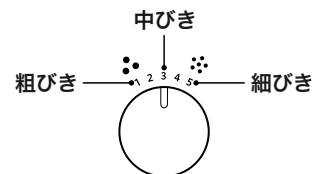


コーヒー豆は約100gまで入れられます。

ホッパーに入っている豆の量や、豆の大きさによって、ひかれる量が少なくなったり、均一にひかれなくなったりすることがあります。

- 豆が軽かったり油分が多かったりする場合(ミル内部に豆が入っていかないため)
- 豆が非常に硬い場合
- 豆の量が足りない場合

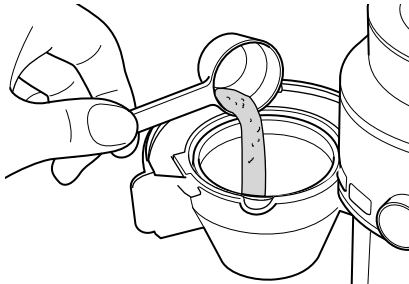
- ③ ホッパーふたを取り付ける
➡「取り付けかた」 10ページ
- ④ ひき目調節ダイヤルを回して、粒の粗さを設定する



- ⑤ 《ひき時間》ボタンを押して、ひき時間を設定する
➡「ひき時間を設定する」 20ページ

コーヒー粉の場合

- ① 取り付けたフィルターに、コーヒー粉をいれる



付属の計量スプーンは、すりきり1杯が約6g、内側の線までが約3gです。

- ② ドリッパーふたを取り付けて、バスケットを閉める

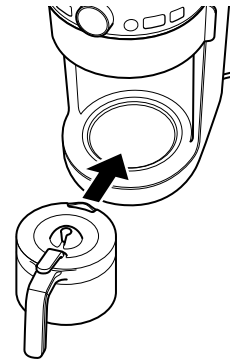
コーヒー粉の目安

	ホット(120 ml) アイス(60 ml)	マグカップ(180 ml)
1杯	12g (付属スプーン2杯)	15g (付属スプーン2+1/2杯)
2杯	18g (付属スプーン3杯)	24g (付属スプーン4杯)
3杯	24g (付属スプーン4杯)	—
4杯	30g (付属スプーン5杯)	—

ご注意

- ホッパーふたの内側・ホッパーがぬれている場合は、油分や水気を十分にふき取ってください。
- ホッパーふた・ホッパー・ドリッパーふた・ドリッパーがぬれている場合は、水気を十分にふき取ってください。
コーヒー豆が付着してホッパーに残る原因になります。
- 湿ったコーヒー豆を入れないでください。
- ステンレスフィルターは豆の種類によって網目が詰まり、抽出時にバスケットからあふれる場合があります。その場合は杯数を減らす、またはコーヒー粉を粗くする調整をしてください。

3 サーバーをプレートにセットする

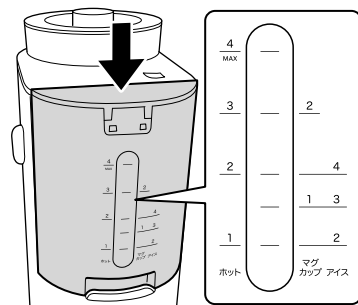


4 給水タンクに水を入れ、本体に取り付ける

➔「取り外しかた」 10ページ

➔「取り付けかた」 10ページ

- コーヒーの種類と杯数に応じた目盛りの位置まで、水を入れます。
- 抽出は、給水タンク内の水をすべて使いきります。給水タンクには、1回にコーヒーを抽出する水を入れてください。
- 給水タンクを本体に取り付けた後は、本体内部に水が流れ込むため、目盛りより水位が下がります。



| 使いかた

ご注意

- 給水タンクにお湯を入れしないでください。
- 給水タンクを本体に取りつけた状態で、水を入れしないでください。
本体内部に水が流れ込むため、規定量より多く水が入ります。
- 満水を目盛り(ホットコーヒー 4杯分)以上の水は入れしないでください。
ふきこぼれの原因になります。
- 最低の目盛り(ホットコーヒー 1杯分)より多くの水を入れてください。
空だきすると、故障の原因になります。
- 給水タンクを本体に取り付けた後は、本体から取り外さないでください。
給水口から水がこぼれて本体内部に入り、故障の原因になります。

コーヒーをいれる

あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。

1 抽出の設定をする

画面が消灯している場合は、いずれかのボタンを押して、コーヒーをいれる画面(杯数や時計が表示されている画面)にしてください。

《モード》 ボタン	《豆》：豆から抽出する 《粉》：粉から抽出する
《コース》* ボタン (「豆」から抽出するときのみ)	《ホット》： ホットコーヒー (約120 mlのコーヒーカップ) 《マグカップ》： ホットコーヒー (約180 mlの大き目のカップ) 《アイス》： アイスコーヒー
《テイスト》 ボタン	《マイルド》：普通(蒸らし時間短め) 《リッチ》：濃いめ(蒸らし時間長め)
杯数* (「豆」から抽出するときのみ)	ダイヤルを回して設定します ・《ホット》：1杯～4杯 ・《マグカップ》：1杯～2杯 ・《アイス》：2杯～4杯

* 杯数について20ページの「杯数のしくみについて」を参照してください。

2 《スタート/取消》ボタンを押し、スタートする

蒸らしの工程のあとコーヒーの抽出が始まります。途中で動作を中止したいときは、再度《スタート/取消》ボタンを押します。

ご注意

- 抽出中は絶対にバスケットを開けないでください。
お湯や高温の蒸気が出てくるため、やけど・けがの原因になります。

3 抽出が終了したら、サーバーのレバーを押しながらコーヒーを注ぐ



- 抽出が終了すると、終了のブザー音が鳴ります。
- あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。

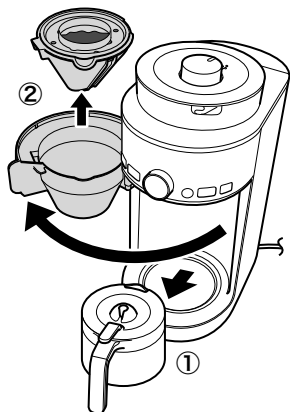
▶ 抽出が終了すると… (保温について)

サーバーは二重ステンレス構造になっていますが、コーヒーの温度は時間の経過とともに徐々に低下します。
少量のときや室温が低いときは、サーバーにコーヒーの熱が取られ、コーヒーの温度が低くなります

▶ 使用後は

本体が冷めてからお手入れしてください。

- ① サーバーをプレートから取り外す
- ② バスケットを開けて、ドリッパーを取り外す
▶「取り外しかた」 12ページ

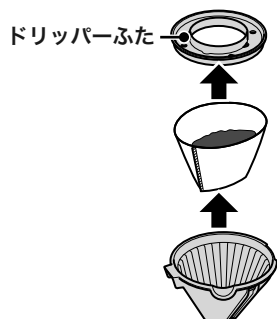


ご注意

バスケットを開けるときは、先にサーバーをプレートから取り外してください。

ドリッパーにサーバーが引っかかり、プレートからサーバーが落下して、けがや故障の原因になります。

- ③ ドリッパーふたを取り外し、フィルターをドリッパーから取り外す



- ④ お手入れする

▶「お手入れ」 23ページ

水洗いできる部品は、本製品を使うたびに必ず洗ってください。抽出済みのコーヒー豆・コーヒー粉はバスケット内に放置せず、早めにお手入れしてください。そのまま放置すると、カビや雑菌が発生する原因になります。

ご注意

- 抽出中は絶対にバスケットを開けたり、バスケットから出る蒸気に触れたりしないでください。
お湯や高温の蒸気が出てくるため、やけど・けがの原因になります。
- 使用したあとは、約30分休ませてから使用してください。
連続使用は故障の原因になります。

▶ サーバーの取り扱いについて

ご注意

- サーバーの蒸気口からは高温の蒸気が出ます。できたてのコーヒーはとても熱いので勢いよく注がないでください。ゆっくりと注いでやけどに注意してください。



| 使いかた

ひき時間を設定する

本機は杯数と《コース》にあわせてミルの動作時間を設定しています。そのため、ひき目調節ダイヤルの位置によって、粗びきの場合は多めに、細びきの場合は少なめにひかれます。

あらかじめ、ひき目調節ダイヤルの位置にあわせて、ひき時間を設定すると、おすすめに近いコーヒー粉の量に設定できます。

ひき時間 設定	ひき目調節ダイヤル				
	粗びき				細びき
1	↑	おすすめ			
2		おすすめ			
3			おすすめ		
4				おすすめ	
5	↓				おすすめ

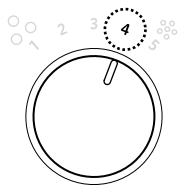
豆の種類によって、
コーヒー粉があふれる
場合があります

- 粗びきからさらに薄くする(粉の量を少なくする)、細びきからさらに濃くする(粉の量を多くする)ことはできません。
- ひき目調節ダイヤルを粗びき側《1》～《2》にあわせた場合、ひき時間を[4]～[5]に設定すると、杯数と豆の種類によって、コーヒー粉がフィルターからあふれる場合があります。杯数が多い場合は、ひき時間を[3]以下に短くして、豆をひく時間を調整してご使用ください。

- ① 《ひき時間》ボタンを押す
ひき時間が点滅します。



- ② ひき時間を選択する
ダイヤルを回して[1]～[5]を選択してください。
ミルの動作時間が長いと豆がひかれる量が増えます。



ひき時間を[4]に設定する

- ③ 《ひき時間》ボタンを押して決定する
ひき時間が点灯に変わります。

杯数のしくみについて

本機は、杯数設定と《コース》にあわせたミルの動作時間を設定しています。そのため、ホッパーに入っている豆の量や、豆の大きさによってひかれるコーヒー粉の量が変わることがあります。

おしらせ

給水タンク内の水は、抽出時にすべて使いきります。給水タンクには、1回にコーヒーを抽出する水を入れてください。

コーヒーの濃度調整について

▶ 粉の量で調整をする

ミルの動作時間を調節し豆がひかれる量で濃度を調節することができます。

→「ひき時間を設定する」 20ページ

▶ 水の量で調整をする(濃いとき)

1杯～3杯の場合：水を多めに入れて調整してください。

アイスコーヒーを作る

- ① 「コーヒーをいれる」(18ページ)と同じ手順でコーヒーをいれる

コーヒー豆・コーヒー粉は深煎りのものをお使いください。

水は、給水タンクのアイスコーヒーの目盛りに合わせて入れてください。

- ② 抽出したコーヒーを別容器に移し、あら熱を取ってから冷蔵庫に入れて冷やす

抽出後すぐにアイスコーヒーを飲みたい場合は、抽出したコーヒーを、氷を入れたグラスに注いでください。



| タイマー（予約）の使いかた

タイマーを使うと、あらかじめ設定した時刻に運転を開始できます。

ご注意

タイマーを使うには、時計の設定が必要です。あらかじめ設定を行ってください。

→「時計を設定する」14ページ

1 部品の取り付けや、コーヒー豆・粉の準備をする

「準備する」(16ページ)を参照してください。

ご注意

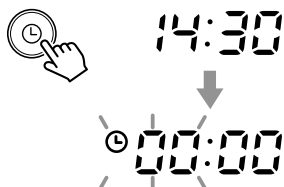
必ずコーヒーをいれる準備をしてください。準備し忘れると、抽出中にコーヒーがあふれ出し、機器の故障・周囲の汚損の原因となります。

2 抽出の設定をする

「コーヒーをいれる」(18ページ)を参照してください。

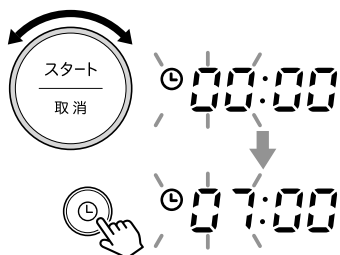
3 (タイマー)ボタンを3秒以上長押しして、タイマー時刻の設定モードに切り替える

タイマー時刻の設定モードに切り替えると、(タイマー)アイコンと時計表示の「時」が点滅します。

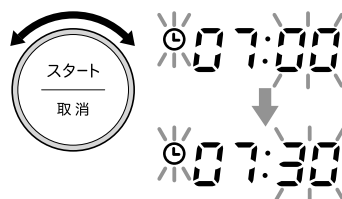


4 タイマー時刻を設定する

- ① ダイヤルを回して「時」を設定したら、(タイマー)ボタンを押す

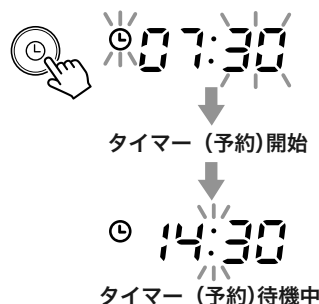


- ② ダイヤルを回して「分」を設定する
「分」は5分単位で設定できます。



5 (タイマー)ボタンを押して、タイマー（予約）を開始する

(タイマー)アイコンとタイマー時刻が点滅から点灯に切り替わり、タイマー（予約）が始まります。タイマー（予約）中は、現在の時刻が表示されます。



- タイマー（予約）中でも、抽出設定を変更できます。
- タイマー（予約）の設定時刻を解除（リセット）するには、《スタート/取消》ボタンを押してください。新たに設定をする場合は、「タイマー（予約）の使いかた」(21ページ)の手順3～手順5を参照してください。

ご注意

電源プラグをコンセントから抜くと、時計やタイマー（予約）設定がリセットされるため、タイマー（予約）が実行されません。

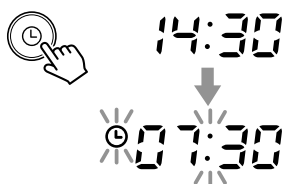
次のページにつづく →

| タイマー（予約）の使いかた

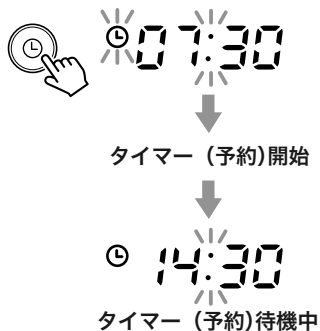
タイマー（予約）を繰り返し使うには

一度タイマー時刻を設定すると、電源プラグをコンセントから抜かない限り、設定時刻が記憶されます。

- ① いずれかのボタンを押して、コーヒーをいれる画面（杯数や時計が表示されている画面）にする
- ② ㊟(タイマー)ボタンを押す
㊟と[:]が5秒間点滅します。



- ③ 5秒以内に ㊟(タイマー)ボタンを押して、タイマー（予約）を開始する



お手入れ

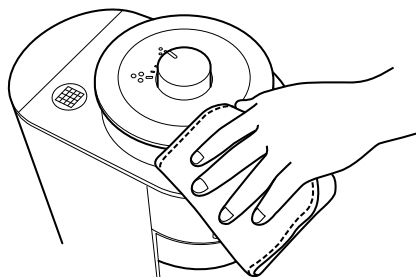
ご注意

- お手入れは、必ず電源を切って本体が冷めた後(約30分後)に行ってください。
高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。
- お手入れした各部品は、充分に乾いてから本体にセットしてください。
水気が残ったまま保管すると、カビや雑菌が繁殖する原因になります。

やわらかいふきんで拭く

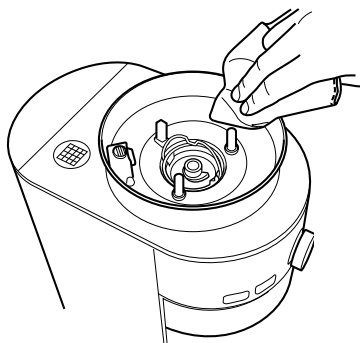
本体外部・プレート

やわらかいふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



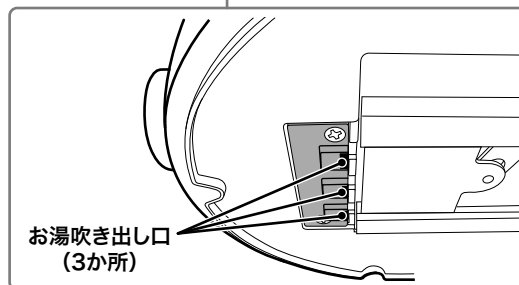
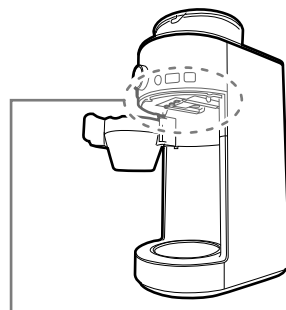
ホッパー内部

汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんで拭いてください。



操作部下側

コーヒー抽出後の操作部下側は、抽出中にはねたコーヒー粉が付着します。定期的に清掃してください。お湯吹き出し口に粉が付着したままコーヒーを抽出すると、お湯の出が悪くなり、ドリッパー内のコーヒー粉が部分的に湿らなくなったり、湿気により内部に粉がかたまってしまったりする原因となります。



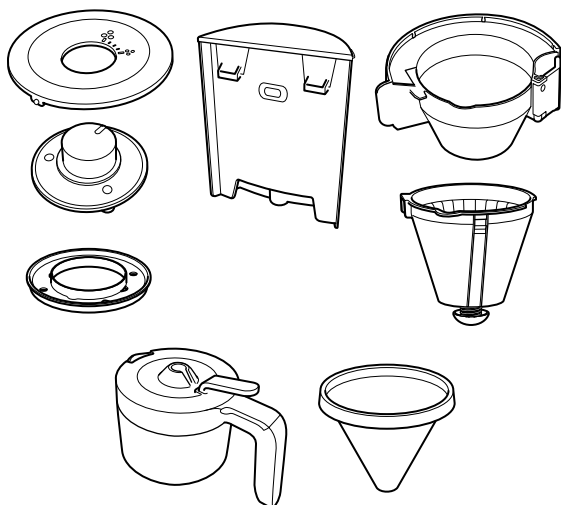
ご注意

- 本体外部・プレート・ホッパー内部・操作部下側は、水洗いできません。
- 直接水をかけたり、丸洗いしたりしないでください。

次のページにつづく➡

お手入れ

中性洗剤をつけたスポンジで洗う



ホッパーふた
ひき目調節ダイヤル
給水タンク
ドリッパーふた
ドリッパー
バスケット
サーバー
ステンレスフィルター

中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。強い力を加えたり、たわし、研磨剤入りの洗剤などを使用したりしないでください。傷や破損の原因となります。

食器乾燥機・食器洗い乾燥機では使用しないでください。

ご注意

- **サーバーは水に浸さないでください。**
すき間に水がたまり、さびや変形の原因になります。
- **サーバーの注ぎ口を中性洗剤をつけたスポンジでしっかり洗う**
油分が付着していると、コーヒーを注ぐときに液だれが発生する原因になります。
- **ステンレスフィルターは、やわらかいスポンジなどでやさしく洗ってください。**
強い力で洗うと、破損の原因になります。

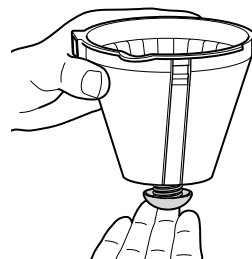
給水タンク内部の汚れが気になるとき

クエン酸 約10gを40℃以下のお湯に溶かしたクエン酸水を給水タンクに入れて、約12時間放置してください。クエン酸はよく洗い流してください。

しずくもれ防止弁のお手入れ

しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずにコーヒーがもれることがあります。本製品を使用するたびに、しずくもれ防止弁を必ず洗ってください。

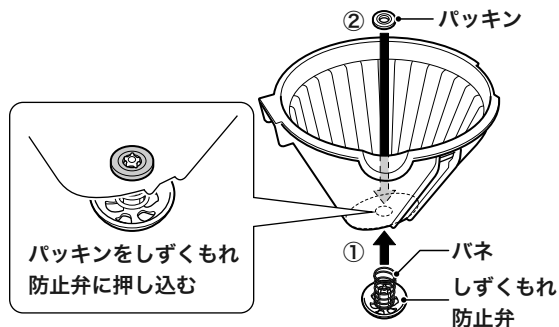
ドリッパーに水をためてから、しずくもれ防止弁を2～3回押し上げて、汚れを洗い流します。しずくもれ防止弁を強く引っ張ると、外れることがあるのでご注意ください。



しずくもれ防止弁が外れたときは

以下の手順で取り付けてください。

- ① しずくもれ防止弁にバネをつけた状態で、ドリッパーの底面から差し込む
- ② パッキンをしずくもれ防止弁に押し込む
パッキンが手で取り付けにくい場合は、先の長いもの（口の広いストローなど）を使ってください。



本体内部のクエン酸洗浄

お湯の出が悪くなったり、抽出に時間がかかるようになったら、クエン酸洗浄をしてください。ご使用いただいているうちに、水に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が本体内部に付着します。これは水アカといわれるもので衛生上問題はありますが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。

おしらせ

ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用している場合は、ミネラル成分が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

- ① サーバーをプレートにセットする
- ② 水500 mlにクエン酸(10 g程度)を入れて、かき混ぜて溶かす
計量カップなどを使用してください。
- ③ クエン酸水を給水タンクに入れ、本体に取り付ける
- ④ いずれかのボタンを押して、コーヒーをいれる画面(杯数や時計が表示されている画面)にする
- ⑤ 《モード》ボタンを押して《粉》を選ぶ
- ⑥ 《スタート/取消》ボタンを押して、抽出を開始する
抽出が終了したら、お湯を捨てて、サーバーをよくすすぎます。
- ⑦ クエン酸のにおいを取るため、水だけで抽出を2～3回くり返す

ミル上側・ミル下側

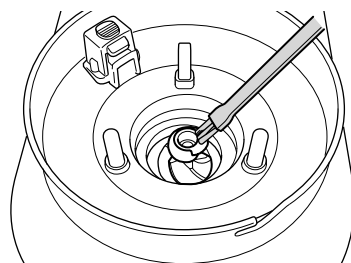
ご注意

ミル上側・ミル下側は、水洗いできません。さびの原因になります。

- ① ホッパーふた、ひき目調節ダイヤルを取り外す
→「取り外しかた」10ページ
- ② ミル上側を取り外し、お手入れブラシで粉や破片を取り除く



- ③ ミル下側と周辺の粉や破片を、お手入れブラシでミル内部に掃き落とす



- ④ ミル上側、ひき目調節ダイヤル、ホッパーふたを取り付ける
- ⑤ 空運転を10秒間行い、内部の粉や破片を落とす

空運転をする

- ① いずれかのボタンを押して、コーヒーをいれる画面(杯数や時計が表示されている画面)にする
- ② 《モード》ボタンを押して、《豆》を選ぶ
- ③ 《スタート/取消》ボタンを押して、空運転を開始する
- ④ 10秒後、《スタート/取消》ボタンを押して、空運転を停止する

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 電源が入らない。

A 電源プラグが抜けていませんか。

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

Q2 《スタート/取消》ボタンを押しても動作しない。

A ホッパーの中のひき目調節ダイヤルがしっかりと取りついていますか。

ひき目調節ダイヤルを確実に取り付けてください(10ページ)。

Q3 運転が途中で止まった。

A 抽出完了後、連続して運転していませんか。

連続して運転する場合は、5分以上冷ましてください。

Q4 コーヒーが抽出されない。

A1 給水タンクに水が入っていますか。

給水タンクに、作るコーヒーの杯数に応じた分量の水を入れてください。

A2 給水タンクが正しく取り付けられていますか。

給水タンクを正しく取り付けてください。

Q5 コーヒーがすべて落ちきらず、バスケットに残る。

A1 ステンレスフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか。

ステンレスフィルターはご使用ごとにお手入れしてください。網目に詰まったコーヒー粉は、付属のお手入れブラシで払って取り除いてください。

A2 コーヒー豆の種類や使用量によっては、抽出終了後もバスケットの中にコーヒーが残る場合があります。その場合は、抽出が止まるまでお待ちください。

Q6 ひいたコーヒー粉がバスケットにたまらない。

A ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。

ミルのお手入れをしてください(25ページ)。

Q7 コーヒー豆がひけない。

A ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。

ミルのお手入れをしてください(25ページ)。

Q8 バスケットからコーヒーがあふれる。

- | | | | |
|-----------|---------------------------------------|---|--|
| A1 | フィルターが取りつけられていますか。 | > | フィルターを正しく取りつけてください。 |
| A2 | 30g (スプーン約5杯)以上のコーヒー粉をバスケットに入れていませんか。 | > | 正しい量のコーヒー粉をバスケットに入れてください。 |
| A3 | しずくもれ防止弁にコーヒーの粉が詰まっていますか。 | > | しずくもれ防止弁はご使用ごとにお手入れしてください。 |
| A4 | サーバーが正しくセットされていますか。 | > | サーバーを正しくセットしてください。 |
| A5 | ステンレスフィルターがコーヒー粉で目詰まりしていませんか。 | > | ステンレスフィルターはご使用ごとにお手入れしてください。網目に詰まったコーヒー粉は、付属のお手入れブラシで払って取り除いてください。 |

Q9 ミルがすぐに停止する。

- | | | | |
|----------|----------------------------|---|------------------------|
| A | ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。 | > | ミルのお手入れをしてください(25ページ)。 |
|----------|----------------------------|---|------------------------|

Q10 ミル上側が本体からはずれない。

- | | | | |
|----------|-----------------------------|---|--|
| A | コーヒー豆をひいている途中でミルが停止していませんか。 | > | ミルを動作させながら、ひき目調整ダイヤルを粗びきに合わせ、コーヒー豆をひく音がしなくなるまで動作させてください。 |
|----------|-----------------------------|---|--|

Q11 コーヒーの味が異常に薄い／濃い。

- | | | | |
|-----------|------------------------|---|---------------------------|
| A1 | コーヒー粉、水の量は合っていますか。 | > | 正しい量のコーヒー粉と水の量を入れてください。 |
| A2 | 操作部下側にコーヒー粉が付着していませんか。 | > | 操作部下側のお手入れをしてください(23ページ)。 |

Q12 お湯の出が悪い／抽出に時間がかかる。

- | | | | |
|----------|--------------------------|---|--|
| A | 本体内部に水アカなどが付着して汚れていませんか。 | > | 水アカなどの汚れがひどくなると、お湯の出が悪くなります。クエン酸洗浄を行ってください(25ページ)。 |
|----------|--------------------------|---|--|

| 故障かなと思ったら

Q13 抽出するとプラスチック臭がする。

- A 使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。
お使いになるうちに少なくなります。気になる場合は1～2回水だけで抽出してからお使いください。それでも気になる場合は、クエン酸洗浄を行ってください(25ページ)。

Q14 しずくもれ防止弁が外れた。

- A 必要な部品(パッキン、バネ)が不足していないことを確認して、「しずくもれ防止弁が外れたときは」(24ページ)を参照し、取りつけてください。
部品を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはインターネットでドリッパーをお買い求めください。

Q15 電源コード・電源プラグに損傷が見られる。

- A 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q16 本体の部品や、サーバーなどを破損してしまった。

- A お買い上げの販売店またはインターネットでお買い求めいただき、新しいものと交換してください。

Q17 [E1]、[E2]、[E4]が表示される。

- A 故障の可能性があります。電源コードを抜いて直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターへお問い合わせください。

Q18 [C3]が表示される。

- A ひき目調節ダイヤルをカチッと鳴るまで取り付けてください。《スタート/取消》ボタンを押すと表示が戻ります。

| 仕様

品名(型番)	コーン式全自動コーヒーメーカー (SC-C125)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	750 W
質量(約)	4.0 kg (付属品を除く)
外形寸法(約)	幅 16 cm × 奥行 27 cm × 高さ 39 cm
抽出方式	ドリップ方式
最大使用水量	540 ml
電源コードの長さ(約)	1.2 m
付属品	ペーパーフィルター、ステンレスフィルター、計量スプーン、お手入れブラシ
原産国	中国

重要

- この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店またはインターネットでご注文いただけます。詳しくは以下のホームページをご確認ください。

<https://siroca.jp/>

プラスチック部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品名	部品コード	部品名	部品コード
サーバー (ステンレス容器)	SC-C122SP	ドリッパー	SC-C112DR
給水タンク(取り外し式)	SC-C121KT	ドリッパーふた	SC-C111LD
ホッパーふた	SC-C112-LB	計量スプーン	SC-C111KS
ひき目調節ダイヤル	SC-C111AD	お手入れブラシ	SC-C111BR
ミル上側	SC-C112-ML	ペーパーフィルター	SC-C111PF
バスケット	SC-C111BK	ステンレスフィルター	SC-C122SF

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後5年です。その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を! —

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱い
 - サーバーの取っ手がぐらつく
- 定期的に「安全上のご注意」や使いかた、ご注意を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：コーン式全自動コーヒーメーカー

型番：SC-C125

保証期間：お買い上げ日より本体1年間

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お買い上げ日： 年 月 日

製造番号：

販売店：店名・住所・電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご連絡ください。
ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。
なお食品の補償など製品の故障以外の保証はいたしかねます。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
 - 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含まず）
 - 腐食による故障、及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090014

お客様サポート

二次元コードからもアクセスできます

故障・修理のお問い合わせ、修理代金の目安、
使いかた・お手入れなどのよくあるご質問はこちら



シロカ サポート

検索

部品・消耗品の
ご購入はこちら



シロカサポートセンター ナビダイヤル 0570-001-469 受付時間：10:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日を除く）
非通知設定の方は「186」をつけて発信番号通知のご協力をお願いします。サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。